



共通教育への誘い

豊かな学修のために

- 外国語、数理自然科目、運動文化の学修の目安と履修モデル
- キャリア形成支援とGenEPの取り組み

CONTENTS 目次

1.	はじめに	02
2.	外国語科目の目的と到達のポイント、 学習動機別履修モデル	04
	(1) 英語	
	(2) ドイツ語	
	(3) フランス語	
	(4) 中国語	
	(5) ロシア語	
	(6) 朝鮮語	
	(7) スペイン語	
	(8) アラビア語	
	(9) 日本語	
3.	数理・自然基礎科目の目的と到達のポイント、 学習動機別履修モデル	22
4.	運動文化科目の目的と到達のポイント、 学習動機別履修モデル	26
5.	現代GP「同窓会と連携する先駆的キャリア教育モデル」 の取組と関連科目	28
6.	ジェンダー教育プログラム (GenEP) の取組と関連科目	32

1. はじめに

本冊子は、全学共通教育科目の体系的な履修計画の参考となるように、積み上げを意識して配置された科目群における各科目の目的と到達のポイント、学習動機別の履修モデルを、学修計画ガイドブックから抜き出して、特集したものです。併せて、全学共通教育における特色ある取組である「同窓会と連携する先駆的キャリア教育モデル」(平成19年度現代GP)とジェンダー教育プログラム(GenEP)、それらの関連科目について紹介しています。

大学によって呼び名は違いますが、全学共通教育・教養教育の理念、基本的な考え方は共通していて、主に二つの目的があります。一つは各学部における専門教育を学ぶための基礎的な勉強態度・能力を身につけること、そしてもう一つは、専門領域の論理や方法論にとらわれない複眼的で幅広い視点を獲得することです。これらは異なっているように見えても、実は同じことがらなのです。

商学、経済学、法学、社会学のどの分野にせよ、社会にアピールできる専門的能力を身に付けるためには英語や他の外国語、ときには数学・情報の基礎的な力が必要になることでしょう。しかし、それだけでは十分ではありません。何よりもまず、自らの身体・健康を律する力が必要です。そして専門の学修を確実なものにするためには、その前に、人文・社会科学はもとより自然科学を含む総合的で幅広い知識を身につけておく必要があります。これらは、いわば専門の基礎としての全学共通教育の役割であり、共通基礎科目および総合科目として様々な科目が提供されています。

しかし全学共通教育のそれぞれの分野は、一方で専門とは異なる固有の論理や方法論を持っています。一歩進んでこれらを理解し身に付けることが、専門にとらわれない複眼的で幅広い視点を獲得することにつながり、あなたの本学における学修をさらに実り豊かなものにするでしょう。そのために、全学共通教育ではそれぞれの分野の中である程度の積み上げを可能にし、体系的に学べるように共通発展科目を設けています。そして、皆さんがどの学部にも所属されるかに関係なく、4年間を通じて全学共通教育を履修することが義務付けられていることの意味合いもこの点にあります。

もちろん全学共通教育のすべての分野で進んだ学習が行えれば理想的ですが、現実的には不可能でしょう。したがって全学共通教育においても、4年間という限られた時間の中で、自らの学習目的に応じて分野を絞り、しっかりと学修計画を立てる必要があります。例えば、大学で新たに学んだ言語を手がかりにその国の文化、歴史、社会について多面的に学びを深めてゆくのもよいでしょう。社会科学においても数学・統計的な手法や情報技術を必要とする場面は確実に広がっていますから、そのような力を身につけるために数学や情報科学について体系的に学ぶのもよいでしょう。また、自然科学や運動文化について広く学びたいと思う人もいれば、総合科目を含む幅広い科目群の中から自分でテーマを設定して自分なりのカリキュラムを組み立てたいと思う人もいることでしょう。全学共通教育では皆さんのような学びの欲求に応えられるように、多様な科目が提供されています。

選択の自由が履修上おおきく認められているのは、皆さんがそれぞれの問題関心や学習動機にしたがって学修計画を立て、また専門を学ぶ中で必要と感じたことがらを随時選択して学べるようにするためです。ものを考える基盤を幅広い視野の中で養っていくために、全学共通教育を重視することは、一橋大学の教育の大きな柱の一つであり伝統でもあります。またその精神は一橋の学問の中に脈々と息づき受け継がれてきています。学生の皆さんもまた新たな担い手として、一橋の「学び」の伝統を継承しながら、自らの「学び」を組み立てていくことになるのです。

本冊子および学修計画ガイドブックを参考に、自らのキャリア形成と社会のあり方を見据え、それぞれの学習動機に応じた学修計画をしっかりと立ててください。そのとき、全学共通教育は、きっとあなたの人生を豊かにするものなることでしょう。

全学共通教育科目の構成表

		@A		
	英語ⅠA、ⅠB、Ⅱ	英語Ⅲ	英語初級	外国語上級
	クラス制語学	初級(A) 中級 ギリシア語、ラテン語Ⅰ	初級B	上級* ギリシア語、 ラテン語Ⅱ、Ⅲ*
			(言語文化Ⅰ)	(言語文化Ⅱ)
		線型代数ⅠA、ⅠB、Ⅱ 微分積分ⅠA、ⅠB、Ⅱ 集合と位相Ⅰ、Ⅱ 確率 情報基礎 計算機概論		線型代数統論 微分積分統論 数理論理学Ⅰ、Ⅱ 情報数学A、B
			サイエンスミニマム 生命科学基礎 物質科学 物理学基礎 サイエンス工房	生態学 環境科学 自然科学史 地球システム 地球科学 現代物理学 生命科学発展 物質とエネルギー
	スポーツ方法Ⅰ			スポーツ方法Ⅱ スポーツ文化 スポーツと映像文化 現代スポーツ論 地域社会とスポーツ 現代社会とスポーツ 運動と体力の科学 ヒューマンセクソロジー
			(社会科学)(人文・思想)(学際テーマ) (如水会寄附講義) 教養ゼミナール	
				(外国人留学生のための科目)

2. 外国語科目の目的と到達のポイント、学習動機別履修モデル

1 英語

外国語科目の英語は、大学生としての英語の基礎を充実させ、さらなる発展への橋渡しをするための「英語Ⅰ（英語ⅠA・英語ⅠB）」のほか、オーラル、ライティング、リーディングなど英語の種々のスキル別に選択できる「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」、さらに高度な英語力の養成を目的とした「外国語上級」など、各自の関心と意欲に応じて履修できる多種多様な科目が用意されています。

(1) 英語Ⅰについて

■英語ⅠA・英語ⅠBは「習う英語」から「使う英語」への転換に主眼を置き、英語の教養および理解・運用の基礎を充実された上で、21世紀の一橋大生にふさわしい学問的かつ実践的な英語力を着実に身につけることを目標とします。

■英語ⅠAは、英語を広く深く能動的に読む能力を養うとともに、日本語と英語の言語文化の相違に注意を払い、鋭い言語感覚を身につけることを目指します。

■英語ⅠBは、授業を英語で行い、リスニング能力に加えて、テキストの正確な読解に基づいて英語で主体的に自分の考えを発信するための能力を養います。

The course will be conducted in English, and is designed to help students to improve their reading skill, to learn to communicate actively in English about information, ideas and issues in the readings, and to function in a student-centered, English-speaking classroom environment.

- (1) 英語ⅠA・英語ⅠBともに、各クラスの定員は原則25名とする。
- (2) 英語ⅠA・英語ⅠBともに、習熟度に応じて「発展」「標準」「基礎強化」の3つのレベルのクラスを設け、履修者は各自に推奨されたレベルのクラスを受講することを原則とする。
英語ⅠBの習熟度（レベル）、基礎強化レベル（Lower Intermediate Level）、標準レベル（Intermediate Level）、発展レベル（Upper Intermediate Level）の概要は以下のようなものである。
The Lower Intermediate Level will focus on extracting and analyzing information and ideas, vocabulary development, and basic presentation, discussion and writing about ideas and issues in the readings.
The Intermediate Level will focus on extracting and analyzing information and ideas organizing and summarizing information, vocabulary development, and presentation, discussion and writing about ideas and issues in the readings.
The Upper Intermediate Level will focus on extracting and analyzing information and ideas, organizing and summarizing information, critical thinking skills, vocabulary development, and presentation, discussion and writing about ideas and issues in the readings.
- (3) 英語ⅠAは、教材として、クラスごとに教科書および副読本を指定する。
- (4) 英語ⅠBは、それぞれのレベルごとに共通の教科書を指定する。

(2) 英語Ⅱについて

■英語Ⅱは言語文化の多様な側面に接する機会を提供し、英語の理解と運用の能力を養うことを目的とした科目であり、次のクラスが用意されています。

	口頭で意思や意見を表現・伝達する能力を養成するクラス。
	自分の意見や主張の概略を文章で表現する能力および、基礎的な説明文や叙述文を書く能力を養成するクラス。

[[語学ラボラトリーで行なわれ、基礎から標準程度の音声英語を聴解する能力を養成するクラス。
	様々なジャンルの英文を読みこなす能力を養成するクラス。
	夏季休暇中に海外の提携校で行われる4週間のプログラムに参加し、習熟度別の少人数クラスで英語の運用能力を総合的に養成することを目指すクラス。

(3) 英語Ⅲについて

■英語Ⅲは英語Ⅱよりも高度な内容を扱う科目であり、次のクラスが用意されています。

	英語で議論に参加できる聴解力と口頭表現力を養成するクラス。
	自分の意見や主張を正確な文章で表現する能力、およびより高度かつ複雑な叙述を行うための作文力を養成するクラス。
[[語学ラボラトリーで行なわれ、基礎から標準程度の音声英語を聴解する能力を養成するクラス。
	様々なジャンルの英文を理解し鑑賞する能力、かつまたそれらを批判的に読む能力を養成するクラス。
	TOEFL、TOEIC、IELTSの受験準備を行うクラス。
	夏季休暇中に海外の提携校で行われる4週間のプログラムに参加し、習熟度別の少人数クラスで英語の運用能力を総合的に養成することを目指すクラス。

(4) 外国語上級（英語）について

■選択科目。英語Ⅲよりもさらに高度な英語の理解ならびに運用の能力を養うことを目的とする。次のクラスが用意されています。

	高度な内容をもった英文を的確に読みこなし、その文意を正確に把握することを目指すクラス。
	より複雑な内容を英語により口頭で表現する能力を養うことを目指すクラス。
	英語による高度で論理的な文章表現能力を養うことを目指すクラス。

